

教職協働によるキャリア形成支援科目 の実践と成果に関する事例

～入学年度別のキャリア意識の比較検討を含めて～

横浜商科大学

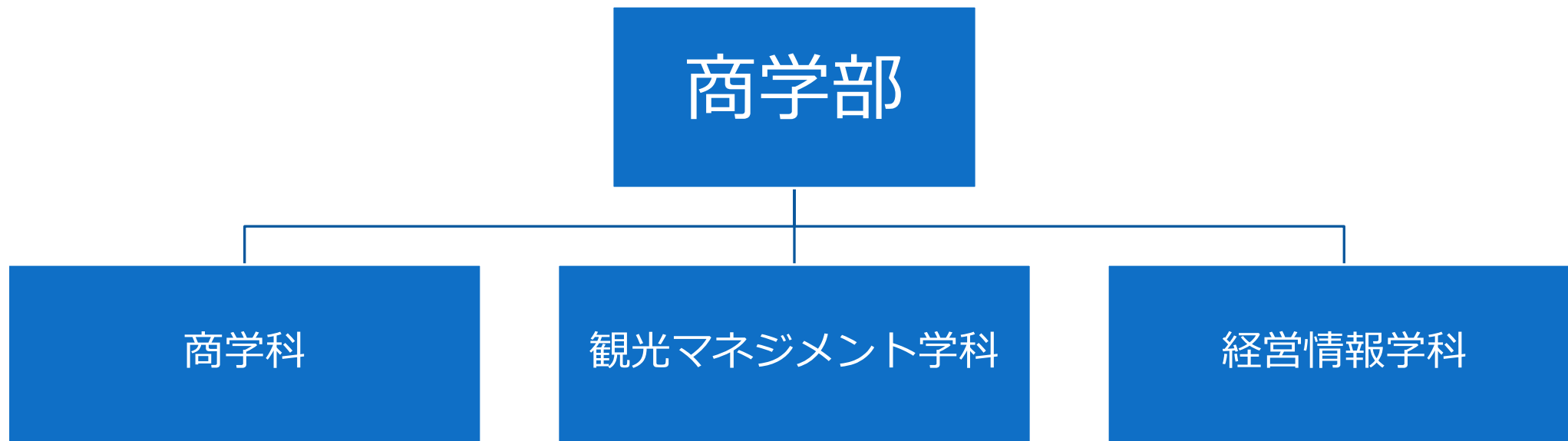
キャリア教育科目コーディネーター・教授 柳田 義継

キャリア支援部 事務部長 一澤 佐江子

今日お話しする事

- 本学の授業の概要について
- 授業の事例について
- 授業の効果について
 - ・各授業での学生のキャリア意識の成長感
 - ・プログラム継続期間（1年or2年）と入学年度別における成長効果の比較
 - ・学生アンケートによる学生の「授業の役立ち感」
- まとめ

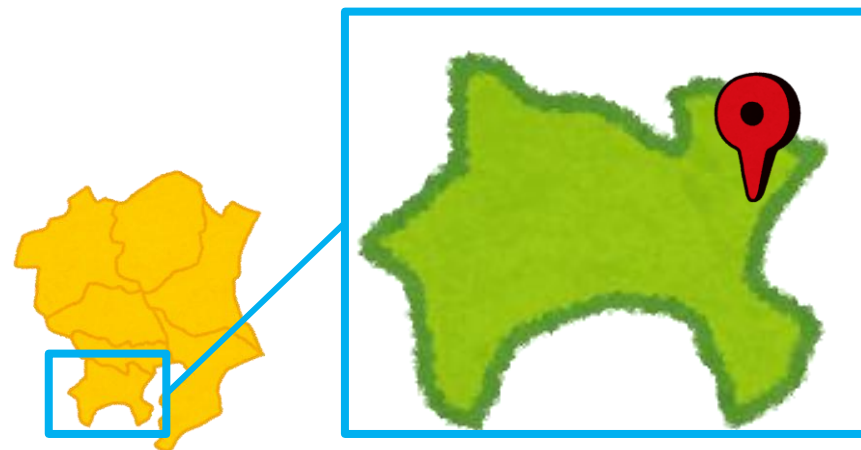
本学の概要



開学：1966年

学生数：1276名

所在地：神奈川県横浜市鶴見区



1966年開学時の建学の精神

安んじて事を托さるる人となれ

～商学は、人の世の幸いのためにある～

「商学教育の完成」を目的とした実学重視の実践的な学習を通じて
「高度な専門知識」と「社会に奉仕する精神」を修得し、
また托された責任をまっとうすることができる
「使命感」と「責任感」をも身につけた人材の育成に努めています。

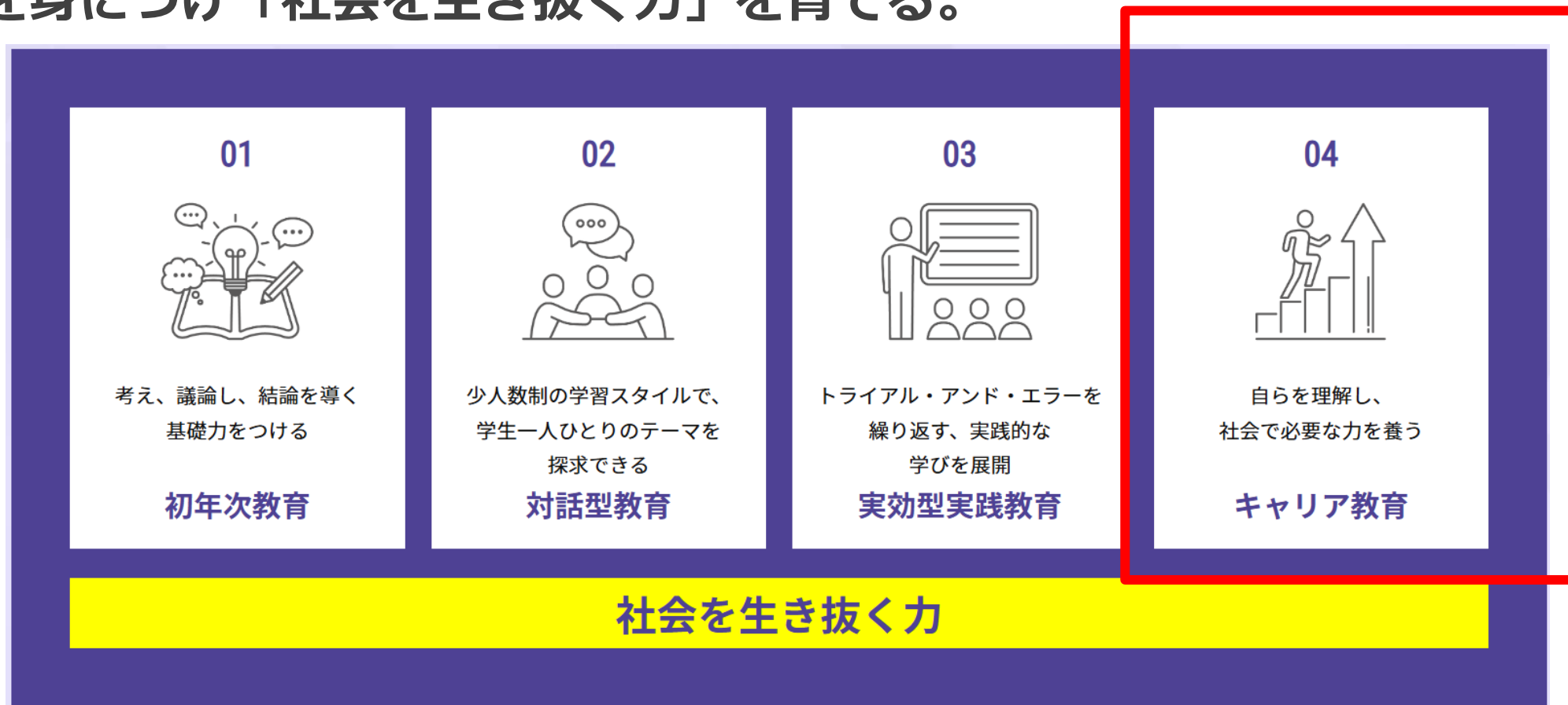
教育方針

1. 高度な専門的職業人としての知識の修得
2. 高潔な倫理的水準の維持
3. 職業に対する強い使命感・責任感の修得
4. 崇高な奉仕の精神の養成



商大の学び方：社会を生き抜く力を育てる

ビジネスにつながる様々な専門知識やスキルを身につけることができるのはもちろん、4つの教育プログラムを展開。未来に向かって成長する原動力を身につけ「社会を生き抜く力」を育てる。



キャリア教育

自らを理解し、社会で必要な力を養う



POINT!

- 自分を深く知り、学ぶ意欲を育む

自分の個性や強み、興味関心を深く知ることは、これからの人生を考えるときに非常に重要です。学生一人ひとりが自分を深く知る機会をつくることで、将来の夢や目標を見据えて、主体的に学びに向かう意欲（マインド）を育みます。

- 学びを自分自身の経験として捉え、深く理解する

授業やさまざまな経験を通して得た知識やスキルを、単なる情報としてではなく、自分自身の問題として捉え、結びつけて考えます。主体的な学びと探究心を通じて、知識やスキルをより深く、実践的に理解していきます。

- 個性を活かしたキャリアを生涯にわたって築く

長期的な視点（ライフキャリア）を持ち、好きなことや得意なことを大切にしながら、学びを社会で活かす力へと磨き上げます。一人ひとりの個性や能力に合わせたキャリア形成を支援します。



学びを社会に活かす

本学でのキャリア教育の定義

本学の目指す総合教養教育において 「キャリア教育＝生きる力」と定義

「人間力」（総合教養教育）×「生きる力」（キャリア教育）
＝ 社会で活かせる学びを提供し、生きる力を育て育む

※「生き方」を学ぶのではなく、自発的に生きるための知識・知恵を学ぶ。

ライフキャリア・ワークキャリア

人生100年時代において、ライフの視点を持つことは重要。
一方で、大学を卒業した学生のほとんどは「就職」することから、職業視点も外せない。

授業内外での包括的なキャリア支援体制

キャリア支援体制

科目コーディネーター 1名
授業担当教員 8名

キャリア支援部会委員 4名
キャリアセンター職員 6名

授業内容と授業外支援が連動するよう、
**総合的に検討し、授業内・外の内容を、
教職員が「一緒に」作る**

より良く

生きる力を
育て育む

社会に適応してよく生きる

個性を生かしてよく生きる

授業内外でのキャリア教育・キャリア支援（28卒まで）

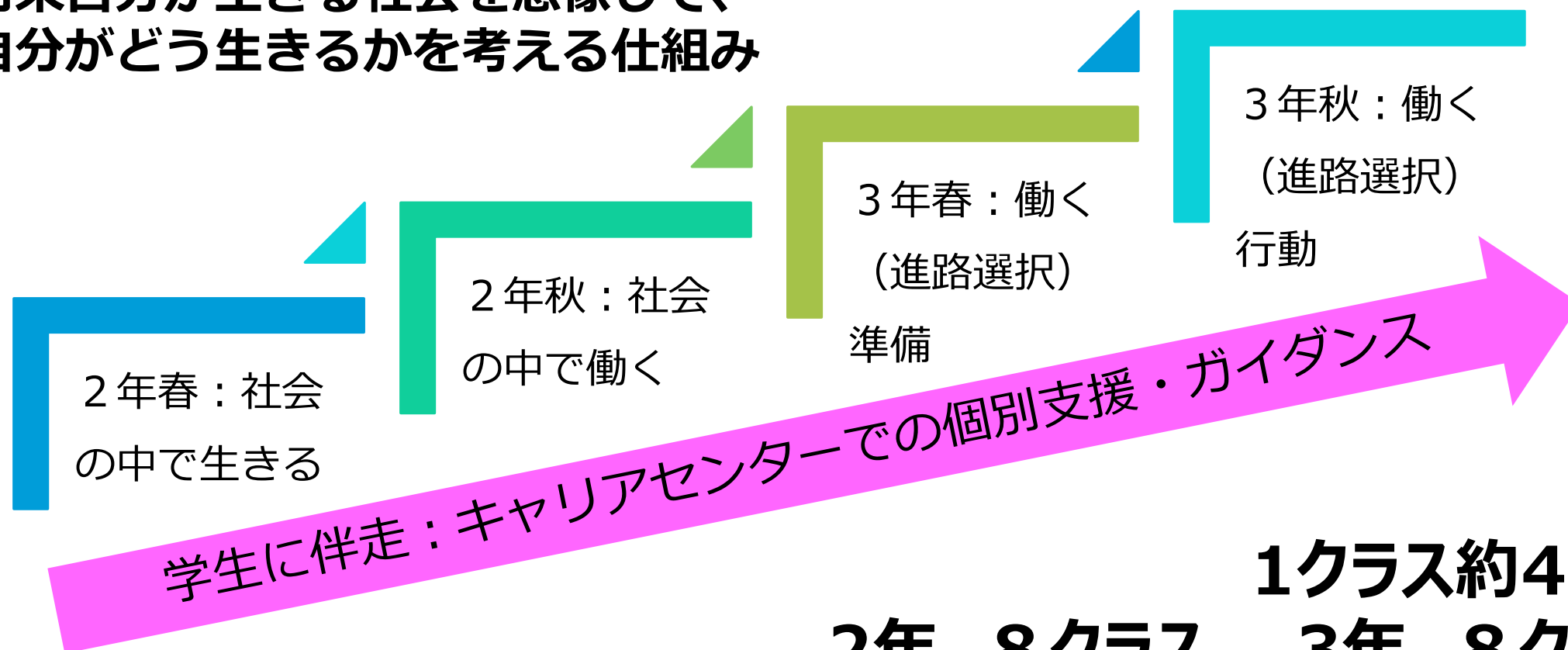
	2年	3年	4年
授業	キャリアデザイン 1, 2	キャリアデザイン 3, 4 企業インターンシップ	
授業外		学内合同企業説明会（業界研究会） 進路支援イベント 個別学生相談	

**基本的な授業外ガイダンス・セミナーは、授業内に組み込み、全員に訴求する。
授業外では、個別性を高くし、ブラッシュアップの機能を持たせる。**

キャリア教育の授業「キャリアデザイン」

★大事にしていること★

就職のテクニックはもちろんだが、
**将来自分が生きる社会を想像して、
自分がどう生きるかを考える仕組み**



1クラス約40名
2年 8クラス 3年 8クラス

各科目の内容

『社会認識』から入り、『自己分析＋社会理解』を経て、最終的な『進路選択』へと向かう、学生の心理発達に即した『線』のカリキュラムを2年間かけて提供しています。

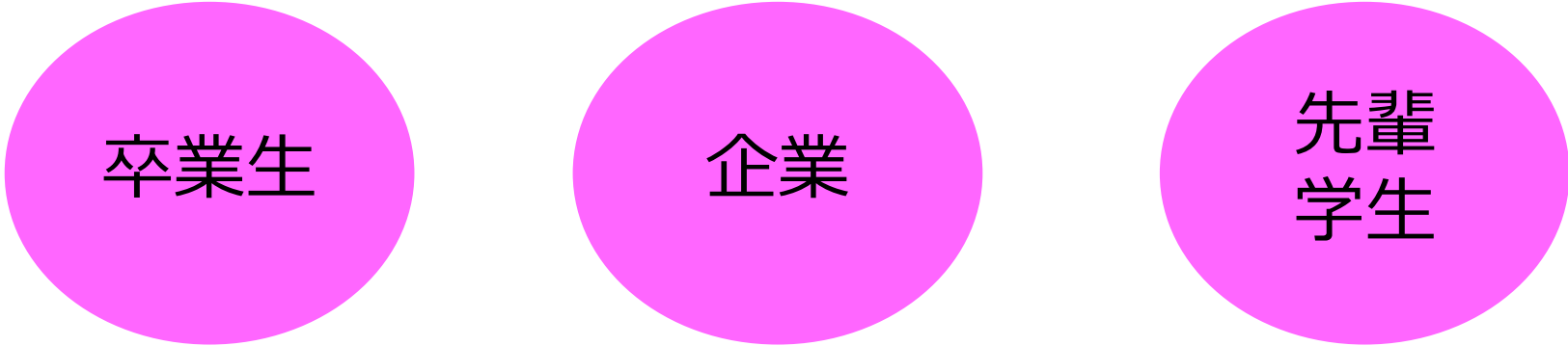
科目名	テーマ	主な実施内容（一部）
キャリアデザイン1 （2年次・春）	社会の中で生きる （社会を知り、その中で生きることについて考える）	VUCA時代や人生100年時代などの社会認識。 ライフラインチャートやライフ・キャリア・レインボーを用いた自己理解。 ブランド・ハプンスタンス理論などの適応力の学習 など
キャリアデザイン2 （2年次・秋）	社会の中で働く （社会を知り、その中で働くことについて考える）	生活費シミュレーションを通じた「働く現実」の検討。 適性診断を活用した企業・業界研究の実践。 労働法の基礎知識や、リフレーミング等困難克服スキルの習得。
キャリアデザイン3 （3年次・春）	働く（進路選択）準備と自己表現	卒業後の進路や、就職活動の整理。自己理解の深化。 履歴書・エントリーシート（ES）の作成と自己表現の練習。 SPI対策や社会人としてのビジネスマナー。
キャリアデザイン4 （3年次・秋）	社会に出るための行動・実践	面接対策やグループディスカッションの実践ワーク。 進路選択時の困難への対処法や、内定後の心構え（初期キャリアの葛藤）の学習。

多様な協力者とともに行うキャリア支援

企業・卒業生・先輩学生が連携し、社会全体で学生を育てるキャリア支援体制です。

社会の第一線で生きる人たちの生の声を聞き、肌で感じる体験を通して、社会を「自分事」として捉え、自ら考え行動する主体性をじっくりと育成します。

2025年…春学期 合計7回（2年3回、3年4回） 秋学期 合計7回（2年2回、3年5回）



卒業生

企業

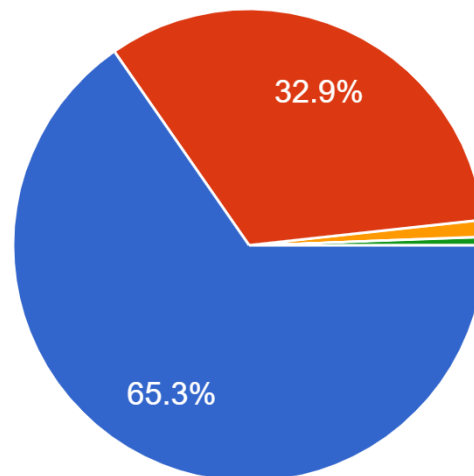
先輩
学生

【企業】授業の中で、企業との接点を持つ

- ・ 3年生の春学期・秋学期に開催 年間約120社
- ・ 授業内に参加を組み込み、企業との接点を持つ機会を必須で提供

満足度 98.2%

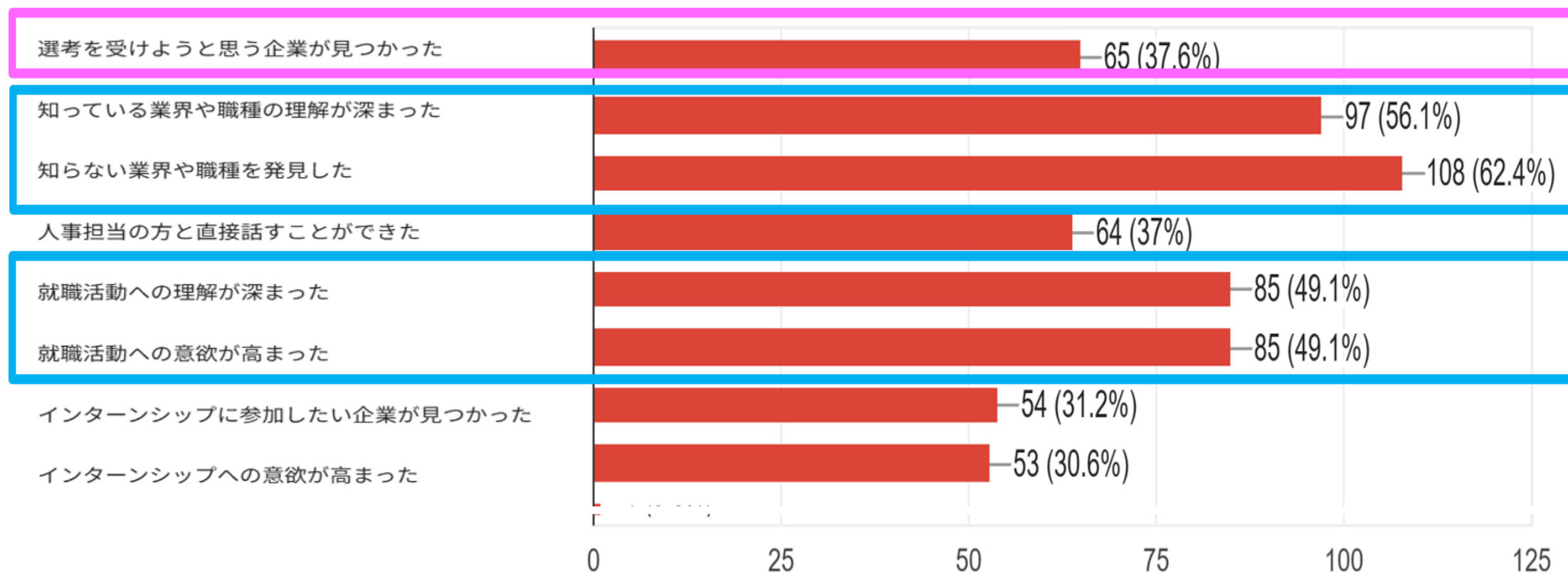
- とても満足できた
- まあまあ満足できた
- あまり満足できなかった
- まったく満足できなかった



【企業】授業の中で、企業との接点を持つ機会を提供

- 「業界・職種」理解や、「就職活動」への意識が上昇した

27卒 2026年5月結果より



【卒業生】OB・OGの協力

卒業生の講演

- ・メーカー、商社、公務員など、様々な業界から卒業生が参加
- ・仕事の説明のほか、大学生活、価値観の変化など、人生を熱く語る時間

「自分の軽率な行動で他社に迷惑がかかか」ことが印象的。実際に働いていくとなると、お客様のことを第一に考えながら、どのようにコミュニケーション取っていくことが重要だと思いました。

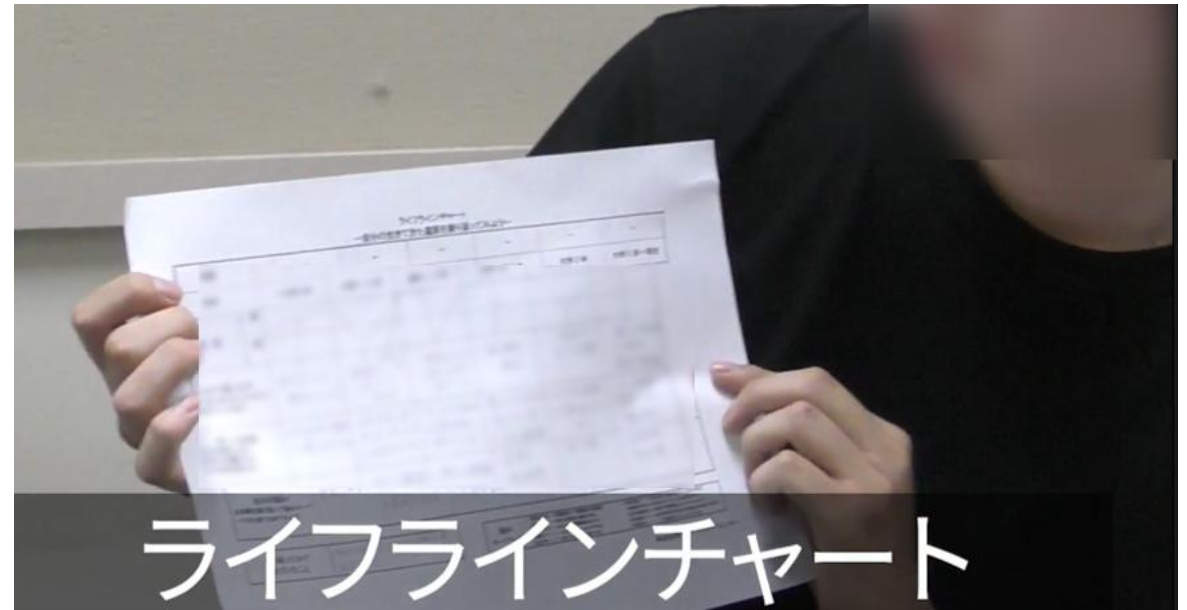
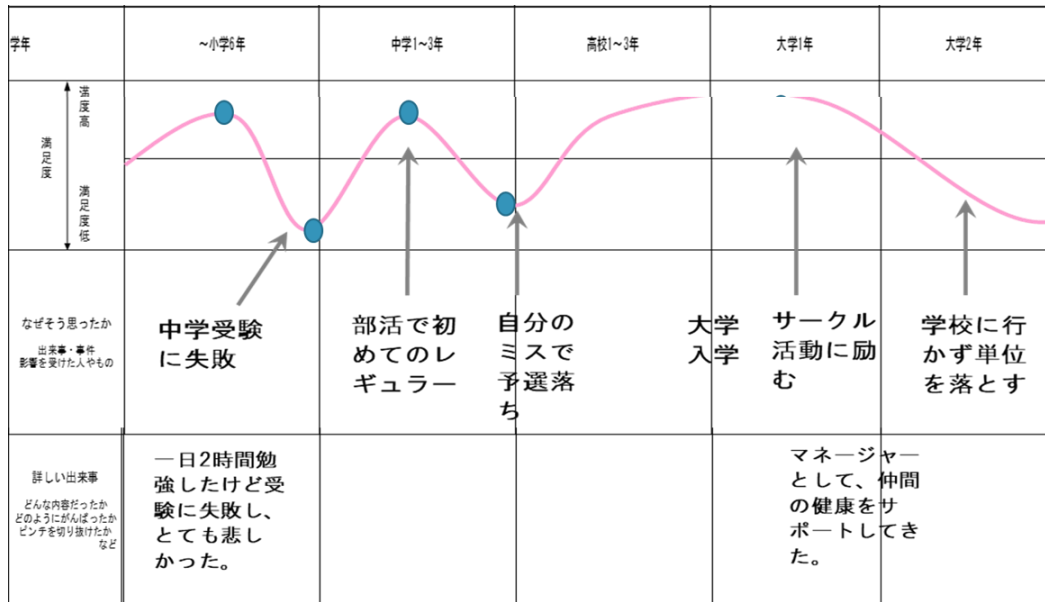
社会人の話を聞いてよりリアルな社会について知ることができた、就職をするだけがゴールではなくてその先の生活などがまだまだあるんだなと感じた。今から考えたりすることを始めてより良い生活を手に入れたい。



【先輩学生】 学生生活や、進路選択の経験を語る機会

先輩学生にご協力いただき、自分の大学生活を「ライフラインチャート」を使って説明。

この授業は、二つのワークを一本の線でつなげた連続性のある授業も実現しています。学生たちは事前に自分のライフラインチャートを描いてから、先輩の実体験を聞くことで、お話が「自分ごと」としてリアルに繋がり、学びが何倍にも深まります。



その他、対話と実践で「自己理解」や「将来展望」を育てる

主体的なキャリア形成を促す参加型授業

授業では、多様なワークを通じて自身の人生やキャリアを主体的に考える力を養うことを意識。過去の経験を振り返るだけでなく、将来の動きについても他者との対話を交えながら考えることで、自己理解を深めていきます。学生同士が意見を共有しながら学ぶことで、新たな気づきや視点を得られる参加型の授業です。

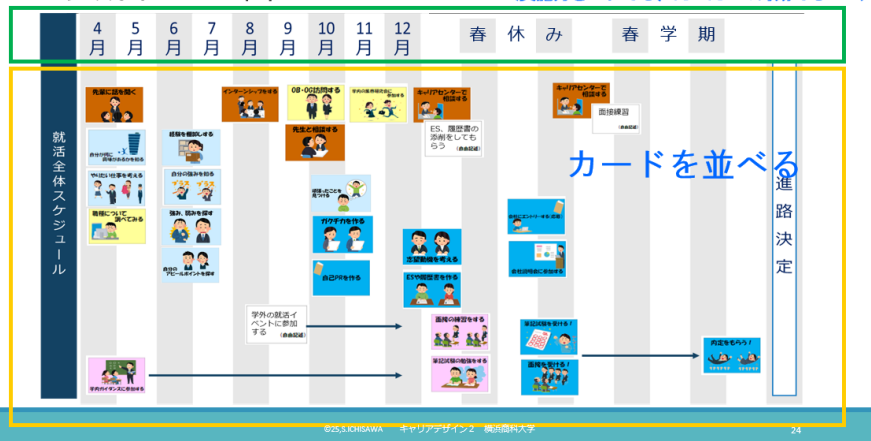
【就活スケジュール完成イメージ図】
内容:タスクが書かれた「カード」をカレンダーに並べ、自分だけのロードマップを視覚的に作成します

【就活中に起きる困難への対処】
よくある就活中の悩みの事例をもとに、みんなで解決策を考えます

【将来のお金について考える】
将来の暮らしに必要なお金を考え、将来の生活をリアルに準備する

完成イメージ図

実施する時期を考える
(実施月をいれても、だいたいの時期でもOK)



カードを並べる

キャリアデザイン 第1回 ワークシート

① 自己理解

1. 自己理解の重要性について、自分自身について考えてみましょう。

2. 自己理解の重要性について、自分自身について考えてみましょう。

3. 自己理解の重要性について、自分自身について考えてみましょう。

4. 自己理解の重要性について、自分自身について考えてみましょう。

② 職業理解

1. 職業理解の重要性について、自分自身について考えてみましょう。

2. 職業理解の重要性について、自分自身について考えてみましょう。

3. 職業理解の重要性について、自分自身について考えてみましょう。

4. 職業理解の重要性について、自分自身について考えてみましょう。

キャリアデザイン 第2回 ワークシート

① 将来のお金について考える

1. 将来の暮らしに必要なお金を考え、将来の生活をリアルに準備する。

2. 将来の暮らしに必要なお金を考え、将来の生活をリアルに準備する。

3. 将来の暮らしに必要なお金を考え、将来の生活をリアルに準備する。

4. 将来の暮らしに必要なお金を考え、将来の生活をリアルに準備する。

【これからの大学生活を考えるシート】
今後の大学生活で力を入れたいことを考え、具体的にどのようにやるかを考える

就活のために必要な知識もしっかり提供

進路選択・就職活動の流れ、就活の準備・面接対策・筆記試験対策など

例：授業の中で、エントリーシートの添削

[illegible]

ここまでのまとめ

- 横浜商科大学は、就職に関する知識だけでなく、
自分の将来について考える教育を行っている
- 自分の将来を考えたり、気づきを得るために、教職員だけでなく、
企業・卒業生など、様々な人が連携して支援を行っている。
- 何かを教えるのではなく、学生自身が考えることや、
学生同士での対話や集団でのワークを通して、**自分で学び取る**形
- 社会に出ていくときに、**学生が納得して進路を選択**している

プログラム継続期間（1年or2年）と世代別における成長効果の比較

【授業でのアセスメント結果】

- どの入学年度別においても、1年ないし2年間の授業を通して、
のこぎりの形のような線を描きながらキャリア意識が成長していく
- 3年間の縦断的な調査については以下の通り。
 - ・ 1年間だけだと夏休みに意識が低下するが、
2年間おこなうことで、この現象をカバーでき、意識の上昇へつながる。
 - ・ 2年間受講をしたものは、3年秋を迎えた時点で、必要な行動力がすでに高い
水準で安定。焦ることなく一歩リードした状態で、就活に挑めている
 - ・ 2年間受講した者を入学年度ごとに比較すると、同じような成長感がある。
 - ・ 入学年度が遅いほうがさらに意識の高さが見られる。
授業が定着してきたことや、先輩の動きを見てそれを参考にする文化ができ
つつあることが示唆される

当日詳細のデータを示して説明いたします。